

令和3年度事業報告

こばと保育園事業報告

令和3年度入所児童数(月初日)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 延計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 0歳 | 5 | 6 | 7 | 11 | 10 | 11 | 13 | 15 | 17 | 17 | 18 | 18 | 146 |
| 1歳 | 19 | 19 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 237 |
| 2歳 | 20 | 20 | 20 | 20 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 248 |
| 3歳 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 276 |
| 4歳 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 264 |
| 5歳 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 264 |
| 計 | 111 | 112 | 113 | 118 | 120 | 121 | 121 | 122 | 122 | 123 | 125 | 127 | 1,435 |

3年間の入所児童推移

| | H31 | R2 | R3 |
|-------|------|------|------|
| 定員 | 110 | 110 | 110 |
| 0歳児 | 144 | 147 | 146 |
| 1,2歳児 | 504 | 494 | 485 |
| 3歳児 | 264 | 263 | 276 |
| 4,5歳児 | 528 | 528 | 528 |
| 計 | 1440 | 1432 | 1434 |
| 充足率 | 109% | 108% | 108% |

延長・一時保育児童数推移

| | H30 | H31 | R2 | R3 |
|------|------|------|------|-------|
| 延長保育 | 1344 | 1483 | 1695 | 1,210 |
| 一時保育 | 525 | 465 | 12 | 11 |

2、職員動向

| | フル | パート | 計 | 備考 |
|-------|-----|-----|-----|---|
| R3年3月 | 20人 | 10人 | 30人 | 保育士1名、給食パート1名退職 |
| R3年4月 | 20人 | 11人 | 31人 | 新卒保育士採用 パート保育士、パート調理員途中採用 保育士産休、保育士途中退職 |
| R4年3月 | 18人 | 14人 | 32人 | 保育士退職 |

① 運営

- ・定員110名（1,320名）で1,435名（108%）を受け入れた。
- ・コロナ禍の中で園内への感染をしっかりと防ぐために合同運営部、運営部会議を定期的に行い、方向性の確認をしました。
- ・コロナの感染状況を見ながら保護者・職員の県外への往来、県外からの往来者との接触など事前相談をしてもらえるようお願いしてきました。
- ・一つ一つの行事をどうするかコロナの感染状況を見ながら、蜜を避け子ども達とどんな風楽しめるか、保護者の参加をどうするか、会場等について検討してきました。
- ・フルタイム保育士・パート保育士の募集を行うが応募がなく、職員の配置替えを行いながら職場の保育を維持してきました。

② 保育

- ・例年と同様に近隣公園までクラスやパートでお散歩に出かけたり、砂、泥んこ、ボール遊び等戶外遊びを楽しみました。
- ・夏まつり（7/14～7/16） コロナ禍の中で子どもと職員と楽しもうと「踊りの日」「おいしい日」「縁日の日」として保護者参加なしの3日間の夏まつりweekを楽しんだ。
- ・合宿保育 貸し切りバスで男鹿水族館GAOに出かけました。男鹿東中学校隣の船越のB & G海洋センタープールで遊び、保育園に宿泊しました。
- ・運動会 ぐんすくどんぴょんクラス子ども達と両親のみの参加でイーパる広場で行う。
- ・保育参観 よちよちクラスは室内装飾を工夫し、とことこの仕切り窓に目隠しを作り保護者がそこからいつもの姿を子ども達に気が付かれないように参観できる工夫を試みたところ、「こんな感じで遊んでいるんだ」「ちゃんと座って食べている！」などととても好評でした。とことこクラスは前日にビデオ撮りしたお散歩準備の様子や階段を降りる姿靴を履く姿、食事の様子などいつもの姿を見てもらい、その後大型紙芝居、ペープサートを一緒に見て、ダンスして遊んでいる姿を見てもらいました。
- ・園庭にかまどやピザ窯を準備して毎年恒例のクッキングを楽しみました。また、鮭の解体ショーの見学をし、チャンチャン焼きを戸外で楽しむことができました。
- ・生活発表会 12月に予定していた発表会は感染症が流行してしまったため1月に延期し、1/20に保育園ホールで1部（どんぴょん）2部（ぐんすく）無観客で行いました。ビデオ撮影し、後日保護者に回覧しました。
- ・卒園式 密にならないように、下北手コミュニティセンターの体育館で卒園児・職員・保護者（一世帯1名の制限を設けて）例年のような卒園式を実施した。
- ・ほいくのつどい 地域の親子に保育園を開放する保育のつどいはコロナ感染予防のために年間を通して行うことができませんでした。

③ 健康保険・安全危機管理

- ・園内の感染を防ぐため、玄関先での子どもの受け入れを継続し、職員のマスク着用、園内消毒や換気の徹底など感染対策を行ってきました。
- ・個々の健康管理から熱や薬に対してはとても敏感になったのか、投薬の人数は1日10人くらいから1日1～2人と人数が減りました。
- ・ノロウィルスの流行…12/17(金)から65名が感染しました。（こども63名、職員2名）

・新型コロナウイルス 3/14 夜中園児1名発熱 3/15 PCR検査で陽性判明 3/16～3/19休園する

④施設設備

屋上防水の点検、修理以外に大きな修繕がありませんでした。

⑤事故・ヒヤリハット対応状況

保育)・ヒヤリハット(1件) ・事故報告(2件)

職員会議で事故防止のための確認を徹底する。

⑥意見・要望・苦情受付対応状況・・・(2件)

2歳児の子どもが家庭にて捻挫をする。通院の翌日に登園した際に保育士とのやり取りの中で休むことが前提のような話し方をされた。

歩けない状態であったため、保育時間を短くしたり、家庭で安静にしながら数日様子を見るというほうがよいのではないかと話し合った。

⑦秋田市指導監査状況

指摘事項・・・食物アレルギーがある園児の食事については誤食再発防止に向けた取り組みを施設内で検討すること。

給食担当者や保育士が情報の共有・連携をして対応し、事故防止に取り組むこと。

→アレルギーのある子に対して複数の目で声掛け確認してから食事提供することを徹底した。

みつば保育園事業報告

令和3年度入所児童数(月初日)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 延計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0歳 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 6 | 6 | 7 | 7 | 57 |
| 短時間 | | | | | | 1 | | 2 | 1 | 1 | | | 5 |
| 1歳 | 5 | 5 | 6 | 5 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 | 6 | 7 | 74 |
| 短時間 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 5 |
| 2歳 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 79 |
| 3歳 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 59 |
| 短時間 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 4歳 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 108 |
| 5歳 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 72 |
| 計 | 36 | 36 | 37 | 36 | 38 | 39 | 39 | 39 | 40 | 40 | 40 | 40 | 460 |

5年間の入所児童推移

| | H30 | H31 | R2 | R3 | R4 見込み |
|-------|------|------|------|-----|--------|
| 定員 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 0歳児 | 57 | 64 | 50 | 62 | 62 |
| 1、2歳児 | 203 | 198 | 164 | 158 | 168 |
| 3歳児 | 83 | 81 | 108 | 60 | 72 |
| 4、5歳児 | 174 | 163 | 166 | 180 | 168 |
| 計 | 517 | 506 | 488 | 460 | 470 |
| 充足率 | 107% | 105% | 101% | 96% | 98% |

延長・一時保育児童推移

| | H30 | H31 | R2 | R3 |
|------|-------|-----|-----|-----|
| 延長保育 | 1,209 | 956 | 922 | 959 |
| 一時保育 | 67 | 71 | 18 | 125 |

【2】職員動向

| | フル（正職員） | パート | 計 | 備考 |
|-------|---------|-----|----|----|
| R3年4月 | 11（8） | 7 | 18 | |
| R4年3月 | 11（8） | 6 | 17 | |
| R4年4月 | 11（7） | 6 | 17 | |

【3】総括

①運営

- ・定員40名（480名）で、460名（96%）まで子どもを受け入れた。
保育士の確保が難しく0～2歳児の受入れを各7名とした。入所希望の相談もあったが、保育士不足のため受け入れできないケースもあった。
- ・園の体制が変わり、2年目を迎えたが、ひとつひとつ業務をこなしていった。やはり、コロナ対応がかなりの比重となり思うように進まず苦慮したが、こばととの合同運営部で協議したことを職員、保護者へも伝えていくように努めた。
- ・保育士交流は出来なかったが、こばとなつまつりにみつばから2名行き業務にあたったことで、こばとのなつまつりに実際に関わり楽しむことと行事のすすめ方を感じることができた。
- ・フルタイム職員の産休代替職員を確保が難しく、パート保育士の退職もあり職員配置基準を維持できない月があった。保育の体制をやりくりするため職員の超勤対応が多くなった。一時預かり事業補助金（9月～3月カット）
- ・求人は全く音沙汰なく、保育士派遣会社に登録したが確保できなかった。
- ・土曜日の保育体制に苦慮した。学生アルバイトに助けられたが就職により2月末までの雇用となりその後のアルバイトが見つからないまま4年度を迎える。
パート保育士最大限まで労働時間調整とフルタイム職員の超勤でこなしていった。
- ・コロナ対応をとりながら県内外の保育や栄養の実習生を受入れし、ボランティア活動は秋田市の状況をみながら何度か外回りの整備を手伝ってもらった作業をしてもらった。
- ・毎月の園開放『みつばのひろば』についても、年度当初は行わず、秋以降、秋田市内の状態が落ち着いたところで、本人の体調確認と、県外の往来をしていないかの確認等とり受け入れた。
- ・園の行事、なつまつりは保護者不参加とし、平日に子どもと職員のみで実施。
その他運動会は保戸野小の体育館で行ない、3～5歳児に限定し保護者一家族2名までとし開催した。0～2歳は保育を行なったが、こばと1、2年目職員と4年度新卒採用の4名が見学に来てくれ、手伝ってもらった。
- 12月のおたのしみ会は、昨年に引き続き園内で開催、密を避けるため3クラスずつ、2部制の入れ替え制にして行なった。子どもたちの生き生きとした姿に保護者から喜びの声があがった。

②保育

- ・コロナ禍も2年目になり、昨年とは違い制約はありつつもどんな形であれば可能かを常に考えながら保育を

進めていった。千秋公園の散歩などの少し距離をのばした散歩にも行き季節を感じる事ができた。

体調管理や県外への往来時の注意など保護者の方に協力をいただいた上で、園内では消毒・換気等の実施をしながら特別なことは行わず生活していった。外部との交流、近隣の老人施設への訪問も、保戸野小学校との交流も行なえなかった。

- ・みつばの中では園全体での遊び合いを大切に、異年齢交流も自然に行なっていった。春は昨年盛り上がった『どうぶつえんごっこ』で動物になりきったり、飼育員さんになりきったり、遊びあった。保育士による動物園ショーや、その日の給食もピクニック風にシートでお弁当ランチにして子どもたちもとても喜んでた。冬はお店屋さんごっこや、全園オープンデーの日を設け、どの部屋でも遊べるようにし楽しんだ。普段の中でも異年齢交流を大切に、リズムも4、5歳児の子どもたちが0、1歳児の部屋に来て一緒にやったり、散歩と一緒に手をつないでもらったりした。ちいさい子は大きい子の姿を見て、おおきい子は自然とちいさい子のお世話をしあう関係ができていく。
- ・劇団の観劇を実施。県内の人形劇団に来てもらい「ジャックと豆の木」を鑑賞。目の前で見る迫力ある劇に子どもたちも大喜びし、特に大きいクラスへ影響を受け、その後の遊びや行事の際の劇ごっこにつながっていった。
- ・一時保育一里帰り出産による利用（大阪から）と、定期的に集団で過ごさせたい利用（近所）希望があり、受入れを行なった。

③健康保健、安全危機管理

- ・新型コロナウイルス対応としてほとんどを保護者は園内に入らず送迎を玄関前での受け入れとし保護者参加の行事についてはその都度検討してきた。
- ・感染症については、春はRSウィルス、冬は胃腸炎にかかる子が多くでた。
- ・保育中の転倒等による怪我での受診が何件かあった。
- ・職員のコロナワクチン接種実施 7月～

④施設整備

- ・警備システム導入。防犯カメラ2台設置。

⑤事故（ヒヤリハット）対応状況

- ・事故（ヒヤリハット）6件 受診（有）3件 未受診3件
- ・ケガなどについて、報告書を職員会議で提示し、安全に過ごせるように確認していった。

⑥意見・要望・苦情受付対応状況

- ・要望・苦情に関しては、4件
- ・要望・苦情については、丁寧に聞き取りをすることや状況をきちんと説明をすることなどその都度確認し対応してきた。コロナ禍により保護者とのコミュニケーションがとりづらい状況なので、園の様子がわかってもらえるようなおたよりの発行や、こちらから働きかけて面談を持つなど話をするということに努めてきた。

⑦秋田市指導監査状況

指摘事項はアレルギー児に対する給食の提供について一誤食再発防止に向けた取り組みを検討するように。
マニュアルの再整備。

法人事業報告

理事会4回開催

| | 主な議案 | 理事 | 監事 |
|----------|--------------------------------|-----|-----|
| 5月26日(水) | 2年度事業報告、決算書、3年度補正予算、定時評議員会招集 | 5/6 | 2/2 |
| 6月21日(水) | 理事長選任 | 5/6 | 2/2 |
| 12月1日(水) | 3年度収支補正予算書、育児介護休業規程改定 | 6/6 | 2/2 |
| 3月30日(水) | 3年度補正予算書、就業規則等改定、4年度事業計画、当初予算書 | 5/6 | 2/2 |

評議員会1回開催

| | | | | |
|----------|---------------------|---------|------|--------|
| 6月21日(水) | 2年度事業報告、決算書、役員理事等改選 | 評議員 7/7 | 理事 4 | 監事 2/2 |
|----------|---------------------|---------|------|--------|

監事監査

| | | | | |
|----------|------------------|--------|------|--|
| 5月22日(土) | 2年度業務、元年度計算書類等監査 | 監事 2/2 | 理事 2 | |
|----------|------------------|--------|------|--|

第三者委員会

| | | | | |
|---------|------------|--------|------|--|
| 8月3日(火) | 意見要望苦情について | 委員 2/2 | 理事 4 | |
|---------|------------|--------|------|--|

総括

- ① 新型コロナの10歳未満への急速な広がりの中で保育園休園対応をとらざるを得なかった。
- ② 理事会4回、評議員会1回開催したが、3月理事会は再々延期で開催した。
- ③ 新型コロナ感染の高止まりや事務職員交代で、法人活動も事業推進が停滞せざるを得なかった。

令和 4 年度法人事業計画

1. はじめに

2 年を超える新型コロナ禍の感染防止のために様々な活動が制約されてきたが、オミクロン株は子どもへの感染力が極めて強く、全国的にも第 5 波と比べ保育園休園が急増し、濃厚接触者への対応変化など、さらに緊張し続ける運営、保育が強いられています。

コロナ禍の中でも工夫と創意で保育を進めていますが、この 2 年間で、子ども全員でのふれあい、参加、保護者や地域の方々と作りあげてきたの行事の中断、4 年度もなるとそれらの活動継承体験が 3 年ないままとなります。今年度こそは「あたりまえの日常」を取り戻せることを強く願います。

新型コロナは、働き方や暮らし方の家庭格差を今まで以上に広げ、子育てにも大きく影響しています。

保育園は、一層、保護者とのていねいな関りを広げ、「ともに子育て」を歩んでいく力を高めていくことが求められています。

そのために、保育園経営・運営がより安定し、職員の働く環境改善、処遇改善、職員の育ちあいの取組みが大事となっています。

令和 4 年 2 月より国の職員処遇改善臨時特例事業が実施されますが、委託費(職員処遇改善Ⅰ)、補助金、処遇改善Ⅱ、臨時特例事業と細分化、複雑化する国の処遇改善のやり方に事務作業が増える一方で、なかなか処遇改善の柱となる基本給改善につなげる難しさが問題です。

国の職員処遇改善に 9000 円に留まるのでなく、抜本的な改善、職員配置基準の改善と委託費での職員給与改善がセットで行われることを国に強く求めていきたい。

2. 基本活動方針

(1) 法人活動

- ・法人の社会的役割として地域公益事業の具体化を検討していく(親子のふれあいを広げる活動)
- ・こばと共同保育所から認可、認可の歩みを何らかの形で残せるように取り組む。
- ・今後の法人組織体制の在り方を検討していく。

(2) 保育園経営

- ・今日の状況、新型コロナ禍での安心、安全を土台に保育園経営、運営の在り方を深めていく。
- ・働き続け、やりがいのある労働環境整備と職員処遇改善を引き続き進める。
 - 正職員化、初任給引上げ、定期昇給維持
 - みつば保育園週 5 日制を実施、こばと、みつば同一労働環境整備
- ・職員研修、職員間交流、健康管理など職員が成長する課題や対応を深めていく
 - 職員退職採用が続き、4 年度は新卒保育士 4 人を迎える、伝え合い、語り合う関係づくりの再構築
 - 職員の健康・安全づくりの推進
- ・保育環境の整備を計画的に進めるため、単年度だけでなく中期的な修繕計画や固定資産取得計画の見直しを検討する。
- ・今後の新たな職員体制に引継ぎできるよう諸規定諸記録改定や文書保存管理の整備を進める。

令和4年度こばと保育園事業計画

1、子どもの受け入れと職員体制

| 年齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 定員 | 17 | 17 | 19 | 19 | 19 | 19 | 110 |
| 4月1日 | 8 | 18 | 21 | 22 | 23 | 22 | 114 |
| 3月 | 18 | 20 | 22 | 22 | 23 | 22 | 127 |

| | 保育士総数 | 常勤保育士 | パート保育士 |
|------|-------|-------|----------|
| R3.4 | 25人 | 18人 | 7人(4.25) |
| R4.3 | 23人 | 15人 | 8人(5.30) |
| R4.4 | 25人 | 18人 | 7人(4.50) |

2、運営方針

1、令和4年度運営方針

(1) 子どもの笑顔、笑い声の広がる保育をすすめる

- ・ 保育者自身が楽しんで遊び、子どもたちの遊びを広げる。
- ・ お散歩、園庭での砂遊びなど、自然に触れる戸外遊びを更に広げる。
- ・ 保育と給食が協力連携を強め、楽しく意欲的に食べる食事、食育を進める。
- ・ 全身を使って思いっきり遊び(リズム運動、泥んこ遊びなど)、表現活動へとつなげていく。

(2) 健康保険・安全危機管理能力とその対応力を高める

- ・ 気になる子どもの発達を見つめ、個別に専門機関や小学校と連携していく。
(年2回の健康診断時に、子どもの発達・養育環境について学んでいく。)
- ・ 除去食の誤食や与薬の間違いが無いように、日々複数の目と耳で確認していく。
- ・ 毎月避難訓練を年間計画に沿い実施、同時に安全点検も行う(防犯、不審者対応を計画、実施する)。

(3) 保護者との「共育て」を進める。

- ・ 連絡ノート、クラス便り、懇談会、保育参観など保護者と「共に育ち合う」関係づくりを進める。
- ・ 療育センターなどの受診時、クラス担任も同行し、具体的な指導法を保護者と一緒に学ぶ。
- ・ 子育て支援として地域の親子に保育園を開放する「ほいくのつどい」と一時保育を継続する。

(4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場作り。

- ・ 新卒保育士3名を仲間に迎え、伝え合いや語り合う関係を大事にしていきたい
- ・ 職員育成と職員研修の充実。研修計画を作成する。

(5) 労働環境改善

- ・ 週5日制(週休2日制)の実施からリフレッシュして仕事に向かえる点では良いと職員からの声が多い。クラス、パート、全体での話し合いの場を工夫していきたい。

(6) 環境改善

- ・ 外壁工事、防犯カメラ、不審者対応(警備保障など)計画的に進めていきたい。

(7) 新たな職員体制へ

- ・ 園長、事務員、栄養士など職員体制の移行がスムーズにできるように引き継いでいきたい。

令和4年度みつば保育園事業計画

子どもの受け入れと職員体制

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 |
|--------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| 定員 | 7 | 14 | | 19 | | | 40 |
| 4月1日 | 3 | 7 | 7 | 6 | 5 | 9 | 37 |
| R3年度 | (3) | (6) | (7) | (5) | (9) | (6) | (36) |
| 3月 | 5 | 7 | 7 | 6 | 5 | 9 | 39 |
| R3年度 | (7) | (7) | (6) | (5) | (9) | (6) | (40) |
| 年間延数 | 46 | 84 | 84 | 72 | 60 | 108 | 454 |
| R3年度延数 | (62) | (79) | (79) | (60) | (108) | (72) | (460) |

| | 保育士総数 | 常勤保育士 | パート（常勤換算） |
|-------|-------|-------|-----------|
| R3年4月 | 13 | 9 | 4(2) |
| 3月 | 13 | 8 | 4(2) |
| R4年4月 | 13 | 8 | 4(2) |

2. 運営方針

(1) 子どもと保育者の笑顔、笑い声の広がる保育を進める。

- ① 保育者と子ども、子ども同士のふれあい遊びの中で、安心感と共感関係を広げる。
- ② 子どもの興味・関心・発想を生かし、体験を通して好奇心、探求心、対話力を育む。
- ③ 障がい児を含む全ての子どもたちが共に育ち合う多様な関係性を豊かにし、難しいことへの挑戦する楽しさと自信を育む。
- ④ 保育と給食が連携して生きる力の基礎を広げる食育を進める。

(2) 健康保健、安全危機管理能力とその対応力を高める。

コロナ禍での対応等、2園で共有しながら進めていく。

- ① 全職員が病気、感染症、食物アレルギー等に的確な対応ができるように、絶えず小児保健・医学の最新動向を学び、必要に応じマニュアルを更新し、情報を共有する。
- ② かみつき、取り合い、ケガ、事故への見守り、対応能力の向上を図る。
- ③ 避難訓練、大規模災害、防犯、防災、事故など危機管理対応を強化する。

(3) 保育者との「共育て」「共育ち」を進める。

- ① 保護者の不安を受け止め、安心できる関係を心掛ける。
- ② 子どもの育ち合う姿を丁寧に伝え合う。
- ③ 「共育て」「共育ち」の伝統を受け継ぎ、共に考え合う姿勢を大切にする。
- ④ 地域の子育て支援への参加・連携・保育園開放（みつばのひろば）の継続実施。
 - ・中央地域子育てネットワークへ参加し、地域と連携していく。
 - ・保育実習生、高校生等のボランティアの受け入れを大事にし、保育者への希望を膨らませる機会、人

と人とが共に関わり合う機会とする。

(4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場づくり。

- ① 働きがいのある職場づくり、保育を語り合う職場づくり。
- ② 職員育成と職員研修の充実。
 - ・園内研修—キャリアアップ研修会、正職員研修、2園合同研修等々。
 - ・園外研修—8分野のキャリアアップ研修等計画的な実施。
- ③ 職員健康管理、メンタルヘルス、親睦の取り組みを進める。

(5) 保育園の環境整備を計画的に進める。

- ①自然をより生かした園庭の整備、より快適安全な生活環境のため保育園の建物周りの整備を進める。

(6) 保育園の歩みと今後への取り組み。

- ①保育園が開園し13年目に入る。10周年の節目の年を超え、コロナ禍で特別なことができないままに2年の歳月が過ぎてしまったが、これまでみつば保育園に携わってくれた方や卒園児、今在籍する園児や保護者の方職員に向けて記念誌を発行したい。
- ②これまでのみつばの保育を振り返り、さらにこれからも保護者とともに歩み、地域に根差した園でありたいという気持ちを込めた子育てパンフ等の発行。地域の方にも配布するなど、いずれは保育園が地域の安心の拠点となるような取り組みも検討する。